# 育について学ぶ



1月26日、古江町の鹿屋市漁 協で「食」と「農」交流イベント が行われました。

これは、食育の重要性や地元食 材に関心を持ってもらおうと行 われたもので、約130人が参加。 当日は、あじのさばき方講習会や 食育に関する講演、パネルディス カッションが行われました。参加 者は「食育について感心を持てた」 と話していました。

## 大切な命を守るために



1月22日、リナシティかのや で「心の健康づくり・自殺対策シ ンポジウム in Kanoya」が開催さ れました。このシンポジウムは、 毎年全国で3万人以上が命を絶つ なか、特に大隅地域は自殺率の高 い地域となっているため、自殺へ 追い込まれてしまうことを少しで も防ごうと開催されたもの。当日 は、講演会などが行われ、参加者 は真剣に聴き入っていました。

## 異業種間で交流を図る



1月20日、市内のホテルで農 商工連携「講演会」及び「異業種 交流会 | が行われました。

これは、農商工が連携して新た なビジネスチャンスを創出する機 会をつくろうと開催されたもの で、農業者や企業など市内外から 240人が参加。

交流会では、新たな連携の可能 性などについて意見交換し、異業 種間で交流を深めました。

### **児**守り活動に関する 協定を締結



1月28日、市と郵政事業株式会 社が高齢者見守りに関する協定を 締結しました。

この協定は、ひとり暮らし等の 高齢者が、住み慣れた地域で安心 して暮らし、孤立や孤独死を防ぐ ために、両者が連携して地域のお 年寄りを見守ろうと締結したも の。今後は、地域で発生する問題の 早期発見につなげ高齢者の安心安 全な生活を支援していきます。



#### 全国制覇を成し遂げた ばららロボットに感謝状







1月11日、市役所で、ばららロボット「ローズ・ロード」を製作した鹿 児島工業高等専門学校に鹿屋市から感謝状を贈呈しました。

ばららロボットは、かのやばら園のマスコット「ばららちゃん」をモデ ルに製作され、昨年11月に東京両国国技館で行われた全国高等専門学校 ロボットコンテストで見事優勝を果たし、全国に鹿屋市をPRし貢献した

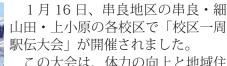
当日は、感謝状やばらの花束などが贈呈されたあと、ばららロボットの 二足歩行が披露されました。

ばららちゃんのアイデアを提案したリーダーの津曲亮介さん(輝北町 市成出身)は、「こんなに大ごとになるとは思わなかったが、結果、鹿屋市を PR することができたのでよかった |と話してくれました。

# 校区一周駅伝大会で健脚を競う







この大会は、体力の向上と地域住 民の親睦を図ろうと毎年行われてい るもので、串良校区に5チーム、細 山田校区に7チーム、上小原校区に 6 チームの総勢 328 人が参加。選 手たちは、沿道から大きな声援が送 られる中、優勝を目指して一生懸命 にたすきをつなぎました。



#### 日本のトップセーラ分が 高須沖で選者レース





1月4日から9日の6日間、高須沖を舞台に「2011 年度セーリング競技ナショナルチーム選考レース」 が開催されました。

このレースは、世界選手権とプレ五輪の座をめぐ る国内最高レベルの選考レース。

選手は、北京五輪選手をはじめ次代を担う大学生 や高校生など日本男女トップ選手計71人が勢ぞろ い。地元鹿屋体育大学出身者も多数参加しました。

6日間にわたるトップセーラーの激しい選考レース により、6種目24人の2011年度ナショナルチーム が決定しました。

### 鹿屋バイパス 4 車線化を祝う



12月26日、大浦町の大浦公園 と郷之原町の郷之原トンネル付近 で、鹿屋バイパス4車線化を記念 して、桜の記念植樹が行われまし

記念植樹されたソメイヨシノ は、鹿屋バイパス施工業者が大浦 町内会と郷之原町内会に寄贈した もの。当日は、各町内会からの参 加者や関係者などが参加して、1 本1本大切に植樹しました。

### 1年の始まり 気を引き締める!!



1月8日、新年を迎え、新たな 気持ちでスポーツに取り組もう と、市体育館で「けいこ始め式」 が開催されました。

当日は、市体育協会に加盟する 29 の競技団体から約 650 人が参 加し、体育功労者7人と優秀ス ポーツ選手7人、社会優良団体2 団体を表彰。その後、参加者は各 練習場に移動してけいこ始めを行 い、さわやかな汗を流しました。

### 子どもたちの 健やかな成長を願



1月7日、輝北コミュニティセ ンターで、4小学校区合同の「校 区合同七草祝い」が開催されまし た。これは、輝北地区の小学校へ 入学する子どもたちの健やかな成 長を願って毎年行われているもの で、華やかな衣装を身にまとった 子どもたち22人が参加。当日は、 記念品贈呈や読み聞かせなどが行 われ、子どもたちが元気に成長し てくれることを願いました。

21 KANOYA CITY PUBLIC RELATIONS 20